

海外食料需給レポート2007

平成20年3月

農林水産省

はじめに

食料は、人間の生命の維持に欠くことのできないものであるだけでなく、健康で充実した生活の基礎として重要なものです。食料の安定供給を確保することは、社会の安定及び国民の安心と健康の維持を図る上で不可欠です。

我が国はそれら大切な食料の供給の過半を海外に依存していることから、国民の食生活に世界の食料・農林水産物貿易事情が大きくかかわっています。

しかしながら、最近の世界の主要穀物の在庫水準は、かつての「穀物危機」と言われた水準以下まで低下し、国際穀物相場は、以前では考えられない水準にまで高騰しています。この要因としては、中国・インドをはじめとする国々の旺盛な需要拡大、米国等におけるバイオ燃料など非食用需要の急激な顕在化、地球規模での気候の変動等といったことが複雑に絡み合っていると考えられ、世界の食料需給の引き締まりはより強まっています。

このため、この「海外食料需給レポート 2007」では、穀物等の国際需給の動向や我が国の農産物貿易の動向を検証するとともに、世界の穀物の需要構造の変化、主要生産国の農業生産の背景にある要因等についても様々な視点から分析を行っています。また、近年関心が高まっている将来の食料需給予測やバイオエネルギーの動向について、農林水産政策研究所の協力により、その研究成果を活用をしながら内容の充実を図っているところです。

今回、作成した「海外食料需給レポート 2007」が、消費者、食品産業等の実需者、そして生産者等、広く国民各界各層への情報提供を通じて、世界の食料需給についての理解を得る上での一助になれば幸いです。

本資料は、農林水産省ホームページ(<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/index.html>)内の「食料需給インフォメーション」でもご覧頂けます。

なお、本資料に関する御質問、御意見等は、農林水産省総合食料局食料企画課までお願いします。

T E L : 03-3502-8111(内線 4086)

F A X : 03-3591-1648

目 次

第 章 世界の穀物等の需給動向	
1 穀物等の需給のこれまでの動向	3
(1) 1960 ~ 90 年代の穀物等の需給・価格動向の概要	3
(2) 2000/01 年度以降の穀物等の需給・価格動向の概要	4
2 個別品目の需給見通し	12
(1) 小麦	12
(2) とうもろこし	20
(3) 大麦・ソルガム	28
(4) 大豆	30
(5) 油糧種子(大豆以外)	39
(6) 米(精米ベース)	42
第 章 世界の農産物貿易構造の変化	
1 我が国の農産物輸入等の動向	51
(1) 概観	51
(2) 輸入動向と輸出動向	52
2 農産物貿易をめぐる近年の動向	57
(1) 世界の穀物貿易の動向	57
(2) 地域別農産物貿易の動向	59
(3) 東・東南アジア及び中国の農産物輸入動向	60
第 章 世界の農産物需給をめぐる種々の制約要因	
1 農業生産の特質や農産物貿易の特殊性	65
2 中長期的にみた需要動向と生産拡大の制約要因	67
3 各国際機関等による世界食料需給予測	69
補章	
1 世界の主な異常気象と穀物生産への影響	73
2 世界のバイオエネルギーの動向	77
3 地球温暖化による食料生産への影響	80
関連資料編	
1 食料需給に関する研究成果(農林水産政策研究所)	85
2 参考図表集	103
付属統計表	131

~コラム~

世界的な食品価格高騰	10
世界のGM作物	38
食糧危機と言われた1970年代前半	48
世界の水資源と食料生産	70

